

3. 基本施策・KPI

基本目標Ⅰ

めがね・繊維・漆器！

稼ぐ地域、魅力ある仕事をつくる

鯖江市は、眼鏡・繊維・漆器の三大地場産業を中心とした、まち全体が一つの工場ともいえる「ものづくり」のまちとして発展してきました。近年は、鯖江市最大の武器であるこれら地場産業の蓄積した高度な技術を最大限に活用して、他の成長分野に進出するなど、販路拡大に取り組んでいるほか、農商工連携による新たな商品の開発や農業の6次産業化、IT企業を中心とするサテライトオフィスの積極的な誘致など、地域産業の活性化に取り組んでいます。こうした取組みをさらに加速させるとともに、鯖江市の「ものづくり」を支えてきた女性の活躍にも焦点を当て、産業の更なる活性化とイメージアップを図り、若者や女性にとって魅力ある雇用の場を創出します。

KPI（成果指標）	単位	現状値	目標値
若者が働きやすい環境が充実していると感じる人の割合	%	81.5	83.0

基本施策

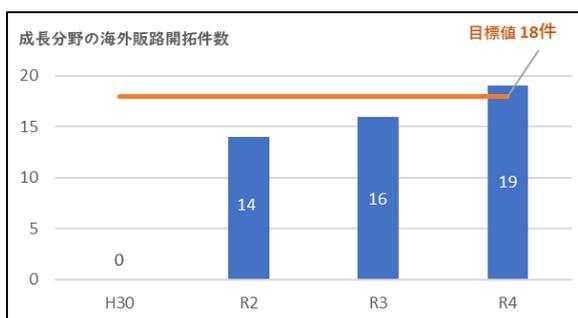
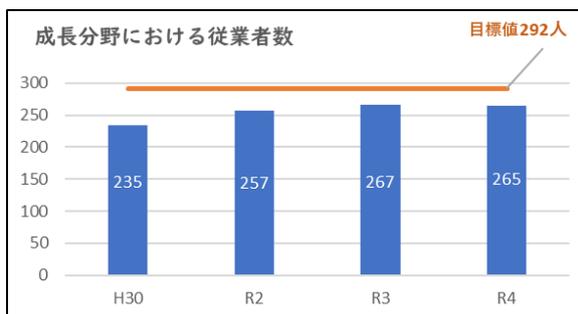
- 1 地場産業の技術を活かした新産業の創造
- 2 既存産業の高度化
- 3 若者に魅力ある働く場の確保
- 4 女性が輝くまちの創造
- 5 持続可能な農業経営の確立

基本施策Ⅰ 地場産業の技術を活かした新産業の創造

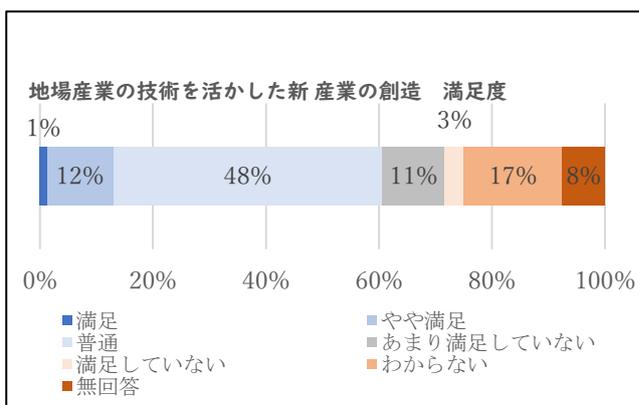
■ 現状

- 鯖江市は、眼鏡産業におけるチタンの微細加工など、地域全体、企業同士が「ひとつの工場」のように、ともいえる「ものづくり」のまちとして発展してきました。
- この特徴により、内発的なイノベーションが生み出されやすい環境にあり、高度な加工技術が集積する世界的にも稀な地域として成長を遂げてきました。
- これまで、これらの技術優位性を活かして、医療やウェアブル端末関連等の成長分野への進出を促し、技術開発や新たな販路開拓への支援を強化してきました。
- 第2期計画期間中は、コロナ禍において、各企業とも、積極的事業拡大に向けた推進体制が取りづらな状況にあり、特に雇用の面では人員確保に消極的にならざるを得ない状況でした。また機械による自動化が進んだことも、従業者数の伸びと関係していると考えられます。
- 海外への販路拡大に関しては、特定の業種・企業に限られるものの、件数としては順調に伸びています。

■ 関連データ



■ 市民満足度・重要度



重要度	3.95
-----	------

(5点満点・アンケート平均3.89)

■ 課題解決に向けて取り組むべきこと

- ・ 成長分野におけるアフターコロナの需要拡大を見込み、引き続き、企業の雇用が促進されるよう支援を継続していく必要があります。
- ・ 市内企業の経営基盤拡大を支援していくことで、「産地リーダー企業販路開拓支援事業補助金」申請件数の増につなげていく必要があります。

令和10年度において目指すべき方向性

- ・市内企業が成長分野へチャレンジできるよう、経営基盤の安定化・強化を支援します。
- ・これまで培ってきた高い技術力にさらに磨きをかけるため、産学官金連携の下で、新たな技術を育てるベンチャー投資を推進します。
- ・デザイン思考などを用いた地域課題解決を成し得る社会的投資の拡充・強化、実証の場の創設・拡充等、スタートアップが育ちやすい環境を整え、成功事例を重ねることで新たな投資を呼び込む環境整備を行います。
- ・特に医療やウェアラブル端末関連等の成長分野への進出を促し、技術開発や新たな販路開拓への支援を強化します。

デジタルの力でできること



- ・企業等のシステム等の導入支援による生産性向上
- ・

■ 計画期間の方向性（実施施策）と手段（実施事業）

① 企業の経営基盤の強化

実施事業	事業内容
制度融資事業	中小企業の振興・発展および勤労者等の生活安定を図ることを目的とした融資制度を実施します。
デザイン経営セミナー	デザイナーの手法や思考の方法をブランドの構築やイノベーション創出に活用する「デザイン経営」を学ぶセミナーを開催することで、市内企業の企業競争力を向上させ、創造的で持続可能な地域産業を醸成します。

② 創業等の支援

実施事業	事業内容
創業支援事業	創業を志す方を対象に、事業を開始するためのビジネスセミナーを開講します。また、起業を志したり、キャリアアップしたい女性を対象に、セミナーを開講します。
事業承継事業	次代を担うリーダーの育成を図るため、後継者育成事業を実施し、スムーズな事業承継を後押しします。
新産業創出事業	市内リーダー企業が取り組む成長分野での販路開拓を支援します。

■ KPI（成果指標）

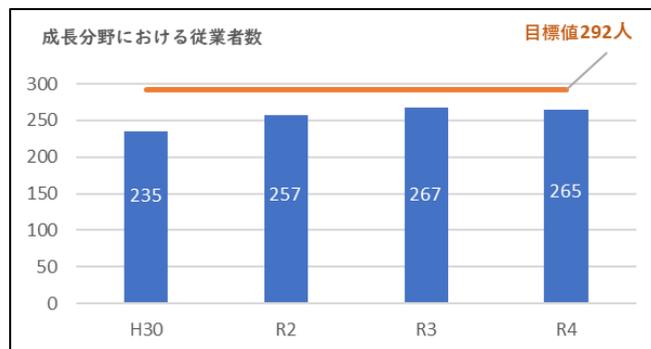
KPI（成果指標）	単位	現状値	目標値
成長分野海外販路開拓件数	件	19	31

基本施策2 既存産業の高度化

■ 現状

- 企業マッチングを進め、新たなビジネスパートナーの掘り起こし、販売力の強化を進めてきました。
- 産学官連携による新素材・新技術・新商品の研究開発を推進してきました。
- 農商工連携による新たな加工品の開発・販路の開拓を推進してきました。
- IT・AI・IoTの導入や有識者等必要な人材の企業間シェアなどを通じた生産性や製品価値の向上を支援してきました。
- 第2期計画期間中は、コロナ禍において、各企業とも、積極的事業拡大に向けた推進体制が取りづらいつ状況にあり、AI・IoT等の活用に向けた積極的設備投資が行われがたい環境にありました。
- 新たな自社ブランドの創出について支援をしてきました。

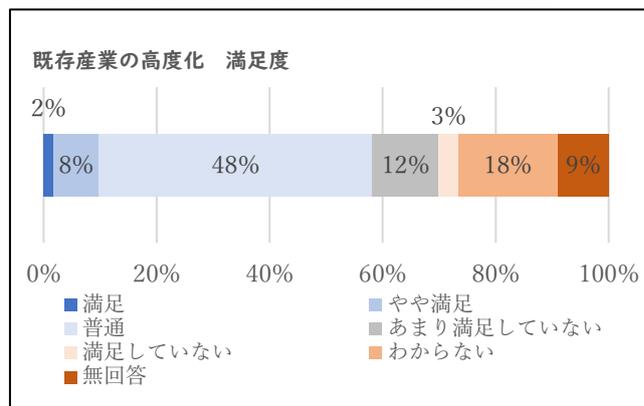
■ 関連データ



AI、IoT等導入支援事業採択数

H30	0件
R2	0件
R3	1件
R4	1件

■ 市民満足度・市民の考える重要度



重要度

3.90

(5点満点・アンケート平均 3.89)

■ 課題解決に向けて取り組むべきこと

- ・ 成長分野におけるアフターコロナの需要拡大を見込み、引き続き、IT、AI、IoT技術導入が促進されるよう支援を継続していく必要があります。
- ・ 新たな販路拡大に向け、企業間のマッチングや大規模な商談が見込める見本市への出展を支援していく必要があります。

令和10年度において目指すべき方向性

- ・引き続き、企業間のマッチングを進めながら、販売力の強化や産学官連携による新素材・新技術・新商品の研究開発、農商工連携による新たな加工品の開発・販路の開拓を推進します。
- ・海外展開を図る中小企業等に対する新商品開発・ブランディング支援を行うとともに、「めがねのまちさばえ」を今まで以上に国内外に発信していきます。
- ・IT・AI・IoTの導入支援を通して、地域の経済を支える中小・中堅企業の生産性を向上し、付加価値を生み出し、より質の高い雇用を創出するなど、中小・中堅企業のDX化を進めていきます。
- ・有識者等必要な人材の企業間シェアなどを通じた生産性や製品価値の向上を支援し、自ら開発・製品化して販売する「作って売る産地」への取組みを支援します。
- ・現代の経営において、デザインを事業プロセスの中に組み込むことは重要な要素であると捉え、企業競争力の向上を目指すデザイン思考を進めていきます。

デジタルの力でできること



・企業等によるECサイトの構築やAI・IoT等の導入支援

■ 計画期間の方向性（実施施策）と手段（実施事業）

① 地域産業の活性化

実施事業	事業内容
販路開拓、企業マッチング事業	商工会議所と連携のもと、市内企業による「チームさばえ」を結成し、ものづくり技術の見本市に出展することで、広く本市の世界に誇るものづくり技術をアピールします。また、大手企業との新しい技術マッチングの機会を創り出すことで、企業の異分野進出と販路拡大を図ります。
産学官連携推進事業	商工会議所と連携し産学官金連携事業を実施し、新事業の創出を図ります。
眼鏡国際見本市産地内開催	一般社団法人福井県眼鏡協会と連携し、眼鏡の国際見本市の産地開催を目指します。
地場産業のDX活用事業	労働力不足が進展する中、生産性・収益性向上のためAI・IoT導入を支援することで、企業のDX活用を後押しします。
産地伝道師育成事業	一般社団法人日本メガネ協会や一般社団法人福井県眼鏡協会と連携し、国家検定資格である眼鏡作製技能士の普及を支援します。
新たな自社ブランド創出事業	市内の中小企業者等が行う特許権、実用新案権の取得を支援します。

② 企業の経営基盤強化（再掲）

実施事業	事業内容
制度融資事業	中小企業の振興・発展および勤労者等の生活安定を図ることを目的とした融資制度を実施します。
デザイン経営セミナー	デザイナーの手法や思考の方法をブランドの構築やイノベーション創出に活用する「デザイン経営」を学ぶセミナーを開催し、市内企業の企業競争力を向上させ、創造的で持続可能な地域産業を醸成します。

■ KPI（成果指標）

KPI（成果指標）	単位	現状値	目標値
販路開拓、企業マッチング 件数	件 (累計)	205	300
AI・IoT等導入支援事業 採択件数	件 (累計)	1	5
新たな自社ブランド創出事業 採択件数	件 (累計)	15	40

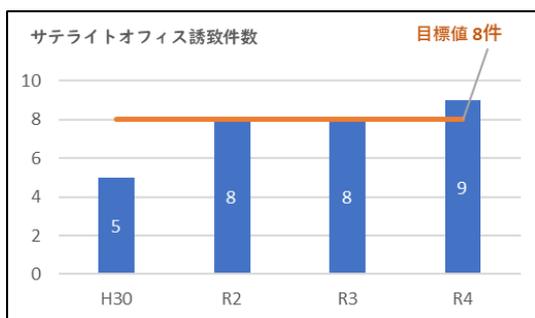
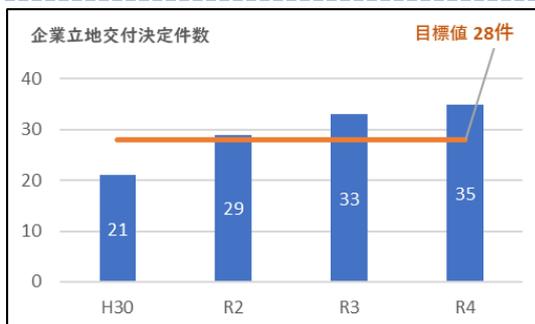
基本施策3 若者に魅力ある働く場の確保

優先的
改善項目

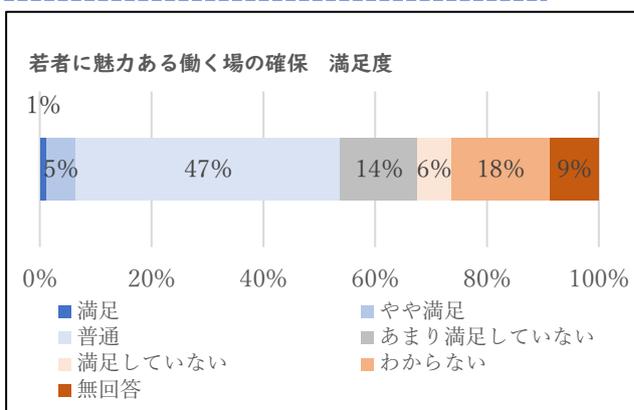
■ 現状

- 医療やウェアラブル端末関連等の成長分野への進出を促し、技術開発や新たな販路開拓への支援を強化してきました。(再掲)
- 次世代を拓くIT企業を中心とするサテライトオフィスの誘致を積極的に行ってきました。
- 企業立地助促進交付金を交付し、新たな企業の鯖江市への誘致を積極的に行ってきました。
- 後継者のいない企業への事業承継者の公募を行うことなどにより、地域産業のイメージアップや新たな雇用の場の確保を図ってきました。
- サテライトオフィスの誘致については、リモートワークの普及等により、働き方に変化がみられます。
- 企業立地助交付金については、制度対象外の企業からの要望が増加しています。
- 市民アンケートでは、「若者が働きやすい環境が充実していると感じる人の割合」が81.5%と高い水準を示しています。
※40歳未満の「普通以上」と答えた者の割合。

■ 関連データ



■ 市民満足度・市民の考える重要度



重要度

4.06

(5点満点・アンケート平均3.89)

■ 課題解決に向けて取り組むべきこと

- ・ コロナ禍後のサテライトオフィスの需要については、今後の動向を注視する必要があります。
- ・ 企業立地促進助交付金については、中・小規模立地やホテル等の立地など制度対象外からの需要が増加しているため、費用対効果の面等から、制度の設計について検討する必要があります。

令和10年度において目指すべき方向性

- ・引き続き、医療やウェアラブル端末関連等の成長分野への進出を促すほか、次世代を拓くIT企業を中心とするサテライトオフィスの誘致や後継者のいない企業への事業承継者の公募などを行います。
- ・伝統工芸の各産地が連携して行う職人の育成や、産地の魅力向上に向けた取り組みなどを行うことなどにより、地域産業のイメージアップや新たな雇用の場の確保を図り、若者や女性の就業につなげます。
- ・企業誘致やサテライトオフィスの誘致、ワーケーションの需要などについて、社会情勢に則した制度設計をもって推進します。
- ・重要度が高く、満足度が低い優先的改善項目として施策の推進に注力します。

デジタルの力でできること



- ・企業等のリモートワーク導入支援によるワーク・ライフ・バランスの推進
- ・IT企業の誘致による市内DX推進に向けた事業連携

■ 計画期間の方向性（実施施策）と手段（実施事業）

① 企業立地の推進

実施事業	事業内容
工場立地助成事業	本市における事業者の育成と企業の立地促進を図るため必要な奨励措置を講じ、産業構造の高度化および雇用機会の拡大を図ります。
IT企業・オフィス誘致	市内にIT関連企業やオフィスを開設・運営する県外事業者の誘致を促進します。

② 若者の就労機会の確保

実施事業	事業内容
大学連携等によるインターンシップ事業	県内外の大学と連携し、市内企業への若者に対する就職を支援します。
ハローワーク武生との雇用対策協定に基づく支援事業	ハローワーク武生と連携し、求人企業説明会を開催することで、市内への就職促進と若者に対する就職を支援します。
U・Iターン移住就職等支援事業	市内企業の働きやすい環境整備を促進するとともに、企業の魅力を情報発信することで、移住者の就業を支援します。
労働環境整備推進事業	ワーク・ライフ・バランス推進のための就業規則の改定や賃上げによる処遇改善など、労働環境の整備に取り組む事業者を支援します。
アイウェアデザイナー育成事業	芸術系大学の学生を対象にメガネデザインについて学ぶ学習を実施し、鯖江の地場産業の振興を図ります。
キャリア教育事業	地元高校と連携し、市内企業への就職支援や地元小・中学生を対象にしたキャリア人材の育成事業を実施します。

③ 創業等の支援（再掲）

実施事業	事業内容
創業支援事業	創業を志す方向けに事業を開始するためのビジネスセミナーの開講や起業を志したり、キャリアアップしたい女性を対象にセミナーを開講します。
事業承継事業	次代を担うリーダーの育成を図るため、後継者育成事業を実施し、スムーズな事業承継を後押しします。
新産業創出事業	市内リーダー企業が取り組む成長分野での販路開拓を支援します。

■ K P I（成果指標）

K P I（成果指標）	単位	現状値	目標値
企業立地交付決定件数	件	35	50
サテライトオフィス誘致件数	件	10	15

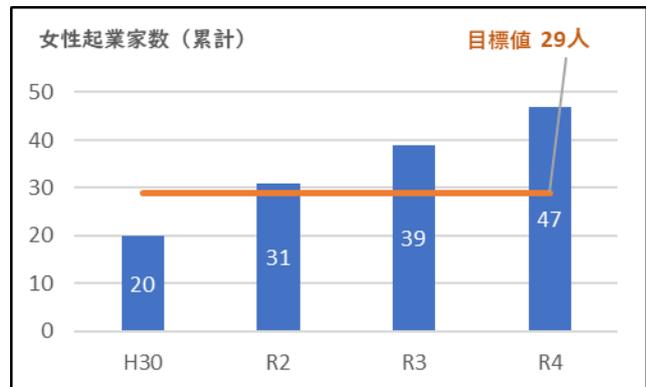
基本施策4 女性が輝くまちの創造

優先的
改善項目

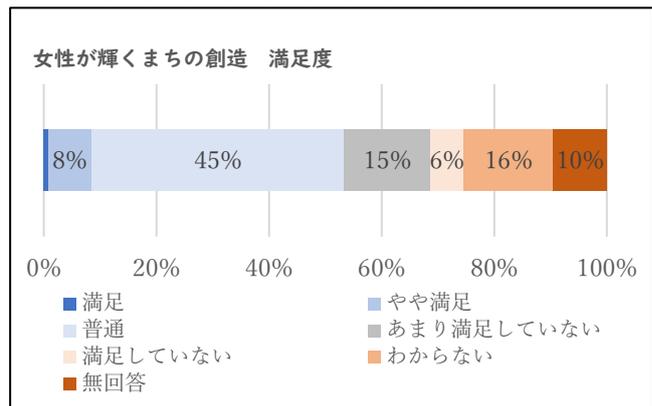
■ 現状

- 鯖江市が「ものづくり」のまちとして発展するなかで、地場産業を支え続けてきた女性の役割が重要視され、女性活躍の地盤が形成されていきました。
- 女性が自らの能力を、ありのまま発揮し、いきいきと輝くためには、女性が仕事と子育てを両立できる環境や、家庭や地域生活等での私生活を充実できる多様な働き方などが必要です。
- 働く女性をまち全体で応援する事業や、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業への支援、女性の起業やスキルアップ支援などを実施しています。
- 女性が輝くまちの実現に向け、「夢みらい館さばえ」「さばえSDGs推進センター」を拠点に、啓発・発信活動を実施しています。
- 『第5次鯖江市男女共同プラン』中間アンケートでは、職場での男女の平等感は27.0%から47.1%と上昇していますが、男女で回答に差があるなどの課題もあります。

■ 関連データ



■ 市民満足度・市民の考える重要度



重要度

4.06

(5点満点・アンケート平均3.89)

■ 課題解決に向けて取り組むべきこと

- ・意思決定の場での女性役員の登用率が低いいため、代表者選出方法について、見直していく必要があります。
- ・定期的にアンケートを実施し、家庭・職場・地域・学校等のさまざまな場面でのジェンダーギャップ（男女の格差）の解消に向けた取り組みと意識改革が必要です。

令和10年度において目指すべき方向性

- ・働く女性をまち全体で応援する事業やワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業への支援を実施します。
- ・女性の起業支援やスキルアップ支援を推進します。
- ・女性が仕事と子育てを両立できるような環境づくりに取り組み、家庭や地域生活等の私生活を充実できるよう多様な働き方を推進します。
- ・女性が輝くまちの実現に向けた啓発・発信活動を実施します。
- ・夢みらい館さばえを拠点に、困難や不安を抱える女性への支援を行います。

デジタルの力でできること



・人材マッチングサイトによる副業人材スキルを活用した女性と市内事業者のマッチング

■ 計画期間の方向性（実施施策）と手段（実施事業）

① 女性の活躍支援

実施事業	事業内容
多様な働き方導入推進事業	ワーク・ライフ・バランス推進のため、働きやすい就業規則の改定にかかる事業を支援します。
男女共同参画推進事業	アンコンシャス・バイアスおよびジェンダーギャップ解消に向けた理解促進の学習、男性の意識改革と女性の参画意欲向上に向けた啓発・学習を実施します。
女性活躍プラットフォーム創出事業	企業向け女性活躍推進セミナー、国際女性デーイベント啓発を行い、経営者の女性活躍へのコミットメント拡大を推進します。
女性のキャリア支援事業	女性のキャリアアップ支援、女性人材の育成を実施します。
誰ひとり取り残さないつながりサポート事業	女性のためのピアサポート事業、女性相談窓口、生理用品の提供などを行います。

② ワークライフバランスの推進

実施事業	事業内容
中小企業の子育て・介護応援事業	子育てや介護と仕事が両立できる職場環境づくりを積極的に行う企業を支援することで、市内労働者のワーク・ライフ・バランスの充実を図ります。
ワーク・ライフ・バランス推進事業	ワーク・ライフ・バランスセミナー、働きやすい職場づくり支援、ワーク・ライフ・バランス賞表彰を実施します。
家事シェア推進事業	共家事推進イベント・講座、男性育休取得の促進啓発を実施します。

③ 創業等の支援（再掲）

実施事業	事業内容
創業支援事業	創業を志す方向けに事業を開始するためのビジネスセミナーの開講や起業を志したり、キャリアアップしたい女性を対象にセミナーを開講します。
事業承継事業	次代を担うリーダーの育成を図るため、後継者育成事業を実施し、スムーズな事業承継を後押しします。
新産業創出事業	市内リーダー企業が取り組む成長分野での販路開拓を支援します。

■ KPI（成果指標）

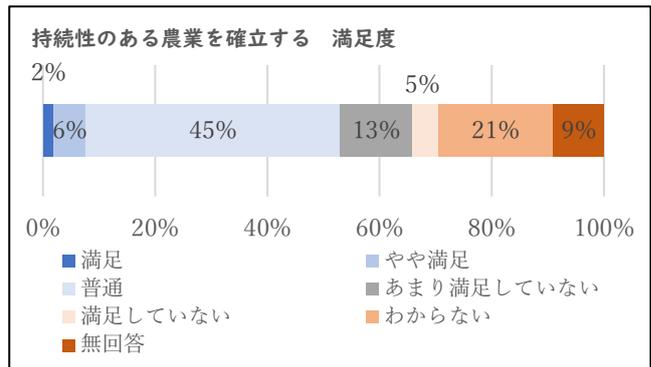
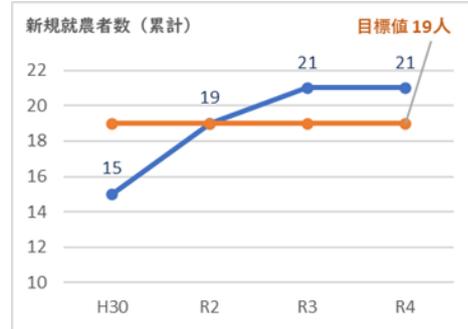
KPI（成果指標）	単位	現状値	目標値
多様な働き方導入推進事業採択数	件	16	30
女性起業家数	人	47	80
女性が輝くまちの創造に満足している人の割合	%	71.5	
職場において男女の扱いが平等であると感じている人の割合	%	47.1	
審議会等における女性登用率	%	35.0%	
市役所男性職員の子の養育休暇平均取得日数	日	2.2	2.5
市役所男性職員の育児休業取得率	%	100	85

基本施策5 持続可能な農業経営の確立

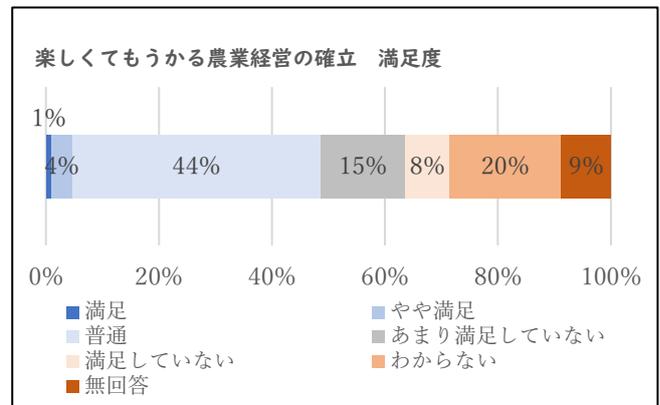
■ 現状

- 「さばえ菜花米」を始めとする特別栽培米や「吉川ナス」「ブロッコリー」などの園芸作物など、鯖江市ならではのブランド農産物の栽培と販路開拓を支援しています。
- スマート農業の導入、農地の集積・集約によるコスト削減や経営の安定化により、収益性の高い、持続性のある農業経営の確立を支援しています。
- 社会情勢等による肥料や燃料、資材などの高騰で農業を取り巻く環境は大変厳しくなっています。
- 新規就農者の数は微増しているものの、依然、農業の担い手不足、後継者不足の問題が深刻なものとなっています。
- 国の「みどりの食料システム戦略」が始まり、カーボンニュートラル等の環境負荷軽減に配慮した、持続可能な食糧システムの構築に取り組んでいます。

■ 関連データ



■ 市民満足度・市民の考える重要度



重要度

3.90

(5点満点・アンケート平均3.89)

■ 課題解決に向けて取り組むべきこと

- ・ 農家の経営安定を図るため、適切な支援を行っていく必要があります。
- ・ 農業の担い手確保に対応するため、スマート農業など様々な支援を実施していく必要があります。
- ・ さばえブランドを確立するため、海外も視野に入れた販路拡大および供給体制の安定化を図る必要があります。
- ・ 環境に配慮した環境保全型農業の支援を行っていく必要があります。

令和10年度において目指すべき方向性

- ・センサーやリモート制御による農機等の遠隔操作、ドローン等を活用した農薬や肥料の適量散布、AI等を活用した熟練者の技術の再現、アシストスーツを活用した作業の軽労化など、スマート農業の導入により担い手への支援を行います。
- ・農地の集積・集約によるコスト削減や経営の安定化により、収益性の高い、持続性のある農業経営の確立を支援します。
- ・「さばえ菜花米」を始めとする特別栽培米や「吉川ナス」「ブロッコリー」などの園芸作物について、鯖江市ならではのブランド農産物として、栽培と販路開拓を支援します。
- ・商品開発や販路拡大を進めるために、ECサイトを利用した農産物のPR事業やリモート商談会を実施するなどし、デジタル技術を活用した農林水産業との連携強化などの取組を推進します。
- ・環境に優しい農業を目指し、生物多様性保全、地球温暖化防止などに効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援します。

デジタルの力でできること



- ・スマート農業の導入による農作業の効率化と技術継承
- ・ECサイトによる生産地と消費地のマッチングおよび販路の拡大

■ 計画期間の方向性（実施施策）と手段（実施事業）

① 農業の担い手の育成・支援づくり

実施事業	事業内容
新規就農者経営支援事業	国・県などの補助事業を活用し、担い手の育成・支援を実施します。
農地中間管理事業	農地中間管理機構を活用し、農地の集積・集約により経営規模の拡大やコスト低減を図る担い手を支援します。

② 営農継続のための支援

実施事業	事業内容
水田農業促進事業	水稲、畑作物用の機械購入時の補助による支援をします。
地域営農再生推進事業	転作への支援として、大豆、そば、麦等の作付け助成による経営安定を図ります。
6次産業化応援事業	さばえ菜花や吉川ナス等の鯖江農産物の加工品開発や販路拡大を進める事業者を支援します。

③ 環境保全型農業の推進

実施事業	事業内容
さばえエコ農業支援対策事業	化学肥料、農薬の5割低減の取り組みなどを環境にやさしい農業を支援します。

④ 農業基盤の整備促進

実施事業	事業内容
農業基盤整備促進事業	畦畔除去等による農地の区画拡大や暗渠排水の整備を行います。

■ KPI (成果指標) (案)

KPI (成果指標)	単位	現状値	目標値
スマート農業の導入経営体数	組織	1	5
新たな新規就農者数 (計画期間中の累計数)	人	22	27